

ダイオキシン類汚染土壌浄化技術評価結果 環境省



環境省では、ダイオキシン類汚染土壌対策の一環として、実用レベルに達している浄化技術を公募して、実証調査をし、技術評価する標記調査事業を行っています。

平成15年度は、公募に応じた42件の技術のうちから、実証調査の対象として2件の技術を選定しました。

今回評価対象となったのは(1)「TPS工法とジオメルト工法を組み合わせたダイオキシン類汚染土壌の無害化処理技術」と、(2)「還元加熱法と金属ナトリウム分散体法との組み合わせ処理法」です。

(1)については、「実証調査初期には、浄化後でも比較的高いダイオキシン類含有濃度が認められ、除去率も88%～98%であった」ものの、その後土壌加熱温度の適正化や伝熱特性を見直したことにより、「本格運転後には99%以上の分解率を達成」したことが報告され、「処理水準・周辺環境への影響とも要求能力を満たしている」との評価が示されました。ただし、「TPS工法の処理温度の設定・管理について、さらに検討を進めることが望ましい」との課題も指摘されました。

なお(2)についても、「500～600℃、1～3時間の還元加熱処理により99.9%以上の分解率の実証され、十分な分解である」との評価が示されましたが、一方で「大半のダイオキシンの分解は還元加熱工程で生じており、当初のシステム構成として提案されたプロセスガス洗浄油の金属ナトリウム分散体処理の意義については再考を要する」、「今後処理プロセスと経済性の改善を進め、実用性を高めることが望ましい」と課題が指摘されました。

資料:2004年10月20日付 EICネット、環境省ホームページ

総務箇所 横山 美代子

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

